

- 1 承久の乱の後、初代の六波羅探題として京都に留まり、のちに3代執権となって御成敗式目を定めた人物は誰？
- 2 一遍が諸国を巡りながら、念仏を唱えて踊ることで教えを広めた活動を何という？
- 3 モンゴル帝国が中央アジアを征服し、世界規模で勢力を広げたのは何世紀？
- 4 13世紀後半、フビライ・ハンが日本へ向けて2度にわたり大規模な遠征軍を九州北部へ送った一連の戦いを何という？
- 5 武士が主従関係において、自分の仕える相手のことを何という？
- 6 鎌倉幕府において、将軍が御家人に領地などを与えることを何という？
- 7 元軍の再来に備えて、北条時宗が博多湾岸に築かせた防壁を何という？
- 8 時宗の僧である一遍が、念仏を唱えながら踊ることで信仰を広めた形式を何という？
- 9 鎌倉時代の武士が重んじた、規律を厳しく守る生活態度のことを何という？
- 10 阿弥陀仏の救いを信じて念仏を唱えれば救われると説き、浄土真宗を開いた僧は誰？
- 11 鎌倉時代に栄西によって伝えられ、曹洞宗とともに武士から厚い支持を受けた禅宗の宗派を何という？
- 12 武士の気風を反映し、写実的で力強い特徴を持つ、鎌倉時代に栄えた文化を何という？
- 13 法然が庶民に信仰を広めた、死後の安らかな世界を何という？
- 14 鎌倉幕府において、将軍が御家人の何を守る（安堵する）ことを根拠とした主従関係を「御恩と奉公」という？
- 15 元軍の再襲来に備えて鎌倉幕府が博多湾の沿岸に築いた、石造りの防壁を何という？
- 16 モンゴル帝国（元）の遠征を受けた際、当時の日本を統治していた幕府を何という？
- 17 鎌倉幕府の重要職であり、土地の管理や年貢の徴収、裁判などを行って現地の武士を支配した役職は何という？
- 18 十三世紀後半、モンゴル帝国から日本へ侵攻してきた軍隊を何という？
- 19 将軍と御家人の関係において、御家人が果たすべき最も重要な任務の一つである、戦いに参加する義務を何という？
- 20 鎌倉時代、幕府の打倒をめざして挙兵し、敗れて隠岐に流された人物は誰？
- 21 モンゴル帝国が建国されたのは、日本ではどの時代にあたる？
- 22 『方丈記』や『枕草子』、『徒然草』を総称して何という？
- 23 鎌倉幕府において、御家人の統制や軍事・警察を担う「侍所」を設置した初代将軍は誰？
- 24 鎌倉時代末期に『徒然草』を著した人物は誰？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	北条泰時 は、北条義時の長男として活躍し、乱の直後に京都に六波羅探題を設置して政治基盤を固めました。		北条泰時	☐
2	一遍が始めた「 踊念仏 」は、太鼓を打ち鳴らし、念仏を唱えながら踊ることで、深い宗教体験を得ようとするものです。		踊念仏	☐
3	1206年のモンゴル帝国建国から、 13世紀 を通じてモンゴル軍は東西に遠征を行いました。		13世紀	☐
4	1274年の文永の役と、1281年の弘安の役の2度、元軍が九州北部に襲来しました。		元寇	☐
5	主君 は、鎌倉幕府においては将軍であり、家臣である御家人に対して領地の保護（御恩）を保証する存在です。		主君	☐
6	「 御恩 」とは、幕府が御家人に対して本領安堵（先祖代々の領地の支配を認めること）や、新恩給与（新しく獲得した土地を与えること）を行うことです。		御恩	☐
7	執権・北条時宗は、博多湾の海岸線に沿って高さ約2メートルにも及ぶ石の壁、 石築地 （元寇防壁）を築かせました。		石築地	☐
8	「 踊り念仏 」は、楽器の音に合わせて歌い踊りながら念仏を唱えるという、非常に活動的な布教の形です。		踊り念仏	☐
9	鎌倉時代の武士は、富や権力を誇示するよりも、質素で 厳格 な生活を送り、主君に対する絶対的な忠誠を誓うことを美德としました。		厳格	☐
10	「 親鸞 」は、法然の弟子として学び、「浄土真宗」を広めました。		親鸞	☐
11	臨済宗 は、栄西が中国（宋）から日本に伝えた禅宗です。		臨済宗	☐
12	鎌倉文化 は、武士の気風や、新しく起こった仏教の影響を受けています。		鎌倉文化	☐
13	浄土 とは、阿弥陀仏が治める、迷いや苦しみから解放された極楽世界のことを指します。		浄土	☐
14	将軍は御家人の領地（本領）を「安堵（保証）」し、時には新しい領地（新恩給与）を与える「御恩」を与えました。		土地	☐
15	これが「 防壁 」です。		防壁	☐
16	鎌倉幕府 は「御恩と奉公」という主従関係を基盤に、地頭や守護を配置して日本全国の武士を統制しました。		鎌倉幕府	☐
17	地頭 は、荘園や公領に置かれ、年貢を徴収したり、警察の役割を果たしたりして、現地での土地支配を強めました。		地頭	☐
18	元軍 は、モンゴル人を中心に、支配下の漢人や高麗人などを加えた巨大な連合軍でした。		元軍	☐
19	御家人の重要な義務が 軍役 です。		軍役	☐
20	その結果、首謀者である 後鳥羽上皇 は隠岐へ流されることとなりました。		後鳥羽上皇	☐
21	チンギス・ハンはモンゴル帝国を建国し、強力な騎馬軍団を率いて次々と周辺地域を征服しました。		鎌倉時代	☐
22	随筆 は、決まった形式にとらわれず、筆者が感じたことや考えたことを自由な文章でまとめたものです。		随筆	☐
23	1180年に鎌倉幕府の主要な機関として「侍所」を設置しました。		源頼朝	☐
24	吉田兼好 （兼好法師）は、元は官職に就いていましたが、のちに仏門に入り、各地を旅しながら執筆活動を行いました。		吉田兼好	☐

言えなかった用語ノート